

第1回「インフラメンテナンス大賞」の受賞者を決定しました!

インフラメンテナンス大賞は、国内の社会資本のメンテナンスに係る優れた取り組みや技術開発を表彰し、広く紹介することにより、事業者や団体、研究者などの取り組みを促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的として実施するものです。

国土交通省のほか、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、防衛省の6省が参加し、各省の所管する施設について、優れた取り組みや技術開発のベストプラクティス(成

功事例)の関係者(個人またはグループ)に対して、有識者による審査を経て、各大臣賞、特別賞、優秀賞を決定しています。

第1回は、計28件の受賞者(うち国土交通省案件受賞者は7件)を本年4月に決定しました。今回は、その中から国土交通大臣賞の3件の概要を紹介します。

今後はインフラメンテナンス国民会議を通じ、受賞案件の水平展開に取り組むほか、次回応募案件の掘り起こしや一般の方への広報も行っています。

●メンテナンス実施現場における工夫部門

東京都下水道局

「下水道管のビッグデータ」を活用したメンテナンス

東京都区部の下水道は国内最大の規模を誇り、下水道管網の総延長は16,000kmにも達しています。この膨大な下水道管のメンテナンスを効率的かつ効果的に実施するために、「下水道管のビッグデータ(下水道管基礎情報をはじめとした工事情報などに関する膨大な情報)」を補修や再構築などの計画立案・工事発注に活用しています。

下水道管の基礎情報や道路陥没被害の発生状況などの維持管理情報を下水道台帳情報システム(SEMIS[※])に集約し、さらに管路内調査や完了した工事の情報をフィードバックしてデータのスパイラルアップを実現しています。また、SEMISは全職員が活用できるようになっており、下水道管の確実な状態把握と機能保全を実施しています。

※SEverage Mapping and Information System



●メンテナンスを支える活動部門

しゅうニャン橋守隊 はしもりたい

しゅうニャン橋守隊(CATS-B[※])による猫の手メンテナンス活動

しゅうニャン橋守隊は地方のインフラメンテナンスに危機感を抱いた有志の声掛けから始まった産官学民のメンバーで構成される山口県周南市の任意団体です。

猫のように気ままに不定期に集まり、インフラに関する座学と市内の身近な橋梁の清掃や簡易点検を行うことを主な活動内容としており、道路施設の重要性や現状を広報しながら、日常生活の延長上で実施できるメンテナンスを体験型ボランティア活動として住民に提供しています。

※Civilian Activity Team in Shunan for Bridges



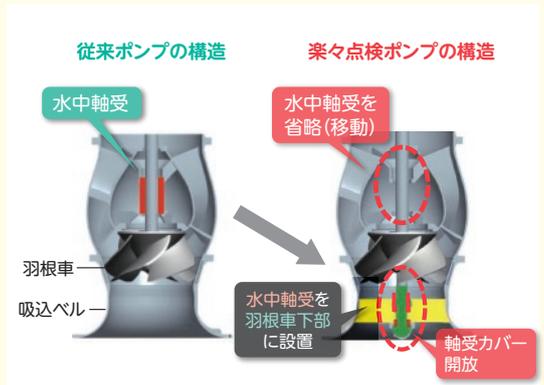
●技術開発部門

株式会社荏原製作所 えぼら

維持管理性を向上させた河川排水用新形立軸ポンプ(楽々点検ポンプ)の技術開発

河川の排水機場は浸水被害から地域住民や財産を守る重要な役割があり、排水機場に設置される大型立軸ポンプはその役割から故障による運転不能が許容されないため、定期的な維持管理による運転機能の確保が求められます。

従来、河川排水用の大型立軸ポンプの水中軸受の点検・整備は構造上、ポンプ本体を引き上げて分解する必要がありましたが、軸受の位置を工夫することで、ポンプを据え付けた状態のままでも水中軸受の点検・整備を可能としました。また、本開発技術(特許取得技術)により、点検・整備にかかる作業コストを大幅に削減でき、点検・整備による設備停止期間の短縮も図れるようになりました。



国土交通省案件の特別賞・優秀賞などの受賞内容は、国土交通省のホームページで紹介しています。

国土交通省 インフラメンテナンス大賞

検索

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000162.html